

第Ⅰ章

クリニカル クエスチョン一覧

第III章 定義

CQ1	急性腹症とは？	16
-----	---------	----

第IV章 疫学

CQ2	急性腹症で頻度が高い疾患は？	20
CQ3	女性における急性腹症の原因疾患の頻度は？	23
CQ4	急性腹症の予後を左右するリスク因子は？	23
CQ5	急性腹症の予後は？	24
CQ6	一般外来、救急外来を急性発症の腹痛で受診する頻度は？	25
CQ7	一般外来、救急外来を腹痛で受診した場合、重篤または手術が必要になる頻度は？	26
CQ8	急性発症の腹痛で初診時に診断がつく割合は？	27
CQ9	診断がつかなかった急性腹症患者の予後は？	27
CQ10	緊急手術を要することが多い疾患は？	29
CQ11	消化管穿孔の予後はどの程度か？ また予後に影響する要因は？	29
CQ12	入院施設により急性腹症の予後は変わるか？	30
CQ13	緊急性があり命を脅かす(life threatening)腹痛をきたす疾患は？	30
CQ14	緊急内視鏡処置を必要とする腹痛をきたす疾患は？	31
CQ15	緊急血管造影、動注療法、塞栓療法を必要とする腹痛をきたす疾患は？	32

第VI章 病歴聴取

CQ16	腹痛を訴える患者で問診すべきことは？	40
CQ17	腹痛を訴える患者で聴取すべき既往歴、手術歴は？	41
CQ18	SAMPLEに基づいた病歴聴取は治療方針決定に寄与するか？	42
CQ19	「生来健康な患者が6時間以上続く激しい腹痛を訴えた場合、外科的病態である」という法則に根拠があるか？	42
CQ20	腹痛を訴える患者の服用歴で注意すべきことは？	43
CQ21	月経歴(月経周期や月経困難症含む)の聴取に診断的意義はあるか？	44
CQ22	妊娠の有無を明らかにするのに有用な問診法は？	45
CQ23	嘔吐の合併に診断的意義はあるか？	47
CQ24	嘔吐物の性状は閉塞部位特定に役立つか？	48
CQ25	食欲不振の合併に診断的意義はあるか？	49
CQ26	排便習慣の変化に診断的意義はあるか？	50
CQ27	下痢、便秘の存在や性状は急性腹症の診断に有用か？	51
CQ28	突然発症の腹痛に診断的意義はあるか？	52
CQ29	腹痛の性状は診断に役立つか？	52
CQ30	OPQRSTの症状聴取に診断的意義はあるか？	54
CQ31	疼痛の移動の診断的意義はあるか？	55

第VII章 診 察

CQ32	急性腹症が疑われた場合の基本的な身体診察法は？	58
CQ33	医師が感じる患者の第一印象に診断的意義はあるか？	59
CQ34	床上姿勢に診断的意義はあるか？	60
CQ35	急性腹症患者にバイタルサインを測定することは有用か？	60
CQ36	腹部視診は急性腹症の診断に有用か？	62
CQ37	腸蠕動音は複数箇所で聴取すべきか？	63
CQ38	腹部聴診は急性腹症の診断に有用か？	64
CQ39	腹部打診は急性腹症の診断に有用か？	65
CQ40	腹部触診は急性腹症の診断に有用か？	66
CQ41	腹水所見、腸腰筋テスト、閉鎖筋テスト、Howship-Romberg 徴候は急性腹症の診断に有用か？	68
CQ42	腹膜刺激徵候とは？	70
CQ43	腹膜刺激徵候は急性腹症の診断に有用か？	70
CQ44	肥満患者が診断に与える影響は？	72
CQ45	腹壁圧痛試験(Carnett 徵候)は急性腹症の診断に有用か？	73
CQ46	直腸診は急性腹症の診断に有用か？	74
CQ47	内診は急性腹症の診断に有用か？	76
CQ48	急性腹症は血液検査、画像検査のみで診断可能か？	77

第VIII章 検 察

1. 血液検査

CQ49	急性腹症の診断に有用な血液検査は？	80
CQ50	プロカルシトニンは急性腹症の診断や重症度判定に有用か？	81
CQ51	血液ガス分析(乳酸値測定を含む)はどのような急性腹症に有用か？	83
CQ52	白血球数やCRPが正常な場合、虫垂炎を除外できるか？	84
CQ53	心窩部痛患者でリパーゼやアミラーゼを測定することは鑑別診断に有用か？	86

2. 心電図、尿検査

CQ54	心電図を記録すべき腹痛は？	88
CQ55	急性腹症患者で、心房細動(AF)を認めた場合に考慮すべき疾患は？	90
CQ56	検尿はどのような患者に有用か？	91
CQ57	尿管結石を尿潜血の有無で確定、除外できるか？	92
CQ58	妊娠反応はどのような患者に有用か？	93
CQ59	性感染症検査はどのような患者に有用か？	94

3. 画像検査

CQ60	腹部単純X線検査は急性腹症のどのような場合に施行するか？	96
CQ61	急性腹症に腹部単純X線を撮像する場合はどのような撮影方向を用いるのがよいか？	99

CQ62	胸部単純X線検査を追加撮像するのは急性腹症のどのような場合か？	100
CQ63	X線造影検査は急性腹症のどのような場合に有用か？	101
CQ64	単純X線検査で石灰化を認めた場合に、想定できる疾患は？	102
CQ65	超音波検査は急性腹症のどのような場合に施行するか？	108
CQ66	CTは急性腹症のどのような場合に撮影するか？	109
CQ67	腹部単純CTが有用な疾患は？	110
CQ68	造影CTはどのような場合に撮像するか？	111
CQ69	CT・MRIの造影剤投与で注意が必要な病態は？	112
CQ70	腹部CTで異常がみられない腹痛の場合、どの程度緊急性のある疾患が除外できるか？	113
CQ71	腹腔内遊離ガスの検出に有用な画像検査は？	114
CQ72	急性腹症による腹膜炎に対する腹部超音波検査、CT像の役割は？	116
CQ73	MRIは急性腹症のどのような場合に施行すべきか？	117
CQ74	妊婦、小児などに対する被ばくのリスクはどの程度か？	118
CQ75	妊婦に対するMRI撮像で注意すべきことは？	119

第IX章

鑑別診断

CQ76	腹部や後腹膜以外で急性腹症と紛らわしい疾患は？	122
CQ77	右上腹部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	124
CQ78	心窓部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	124
CQ79	左上腹部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	124
CQ80	右下腹部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	126
CQ81	臍下部痛(恥骨上、下腹部正中)を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	127
CQ82	左下腹部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	127
CQ83	臍周囲(腹部中心部)の腹痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	129
CQ84	腹部全体の腹痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	129
CQ85	腹痛と背部痛を訴える患者で鑑別すべき疾患は？	129
CQ86	ショックを伴う腹部中心部の激しい疼痛で鑑別すべき疾患は？	130
CQ87	(参考)学童で頻度が高い急性腹症や鑑別すべき疾患は？	131
CQ88	妊婦の急性腹症で鑑別すべき疾患は？	134
CQ89	高齢者の急性腹症の特徴と予後、予測因子は？	135
CQ90	免疫不全患者における急性腹症で注意すべき特徴は？	137
CQ91	麻痺・感覚障害を有する患者における急性腹症で注意すべき特徴は？	138
CQ92	急性腹症患者において、診断前に鎮痛薬を使うと診断率の低下や予後不良につながるか？	138
CQ93	手術既往のある患者における急性腹症で注意すべき疾患は？	139
CQ94	意思疎通が困難な患者(認知症など)に注意すべきことは？	141
CQ95	特発性細菌性腹膜炎の診断に寄与する情報は？	141
CQ96	卵巣転位を疑うのはどのような場合か？	143
CQ97	異所性妊娠を疑い産婦人科医にコンサルトするのはどのような場合か？	144
CQ98	骨盤内炎症性疾患(PID)を示唆する身体所見、血液検査所見、画像所見は？	145
CQ99	尿管結石を疑わせる病歴、身体所見は？	147

CQ100 腹部痛を繰り返す時の鑑別診断は? 149

CQ101 医療訴訟になった腹痛をきたしうる疾患は? 153

第X章

初期治療

CQ102 急性腹症が疑われた場合の基本的な初期対応(治療)は? 157

CQ103 急性腹症に初期輸液はどのように行うか? 160

CQ104 急性腹症の輸液ルートは何が好ましいか? 162

CQ105 急性腹症の腹痛にはどのような鎮痛薬を使用すべきか? 164

CQ106 急性腹症に抗菌薬はいつ投与すべきか? 169

第XI章

教育プログラム

CQ107 急性腹症の診療スキルを向上させる教育プログラムはあるか? 172

CQ108 エビデンスに基づいた腹痛に対する初期対応アルゴリズムは存在するか? 173